

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法で合わせてください。

■秒の合わせ方…30秒以内の遅れ・進みの修正

月に1度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時刻はいつも正確です。

(1) 時刻モードのとき、

ⓑ ボタンを押します

→「秒」が点滅します。



(2) 時報に合わせて、

Ⓐ ボタンを押します

→「00秒」からスタートします。



秒が00～29のときは切り捨てられ、30～39のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。
※時報は「時報サービス117番」が便利です。

(3) 秒セット後は、

ⓑ ボタンを押します

→点滅が止まります。



※秒セットのまま2～3分ボタン操作を行なわないと、自動的に点滅が止まります。

■時刻・カレンダーの合わせ方

(1) 時刻モードのとき、

ⓑ ボタンを押します

→「秒」が点滅します。

(2) セット箇所を選ぶ

ⓒ ボタンを押します

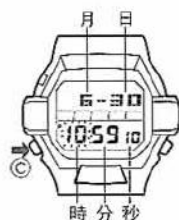
ⓑ ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順で移動します。



(3) 点滅箇所のセット

Ⓐ ボタンを押します

Ⓐ ボタンを押すごとに数字が1つずつ進みます。
※押し続けると早く進みます。



上記(2)～(3)の操作をくりかえして、時刻・カレンダーを合わせます。
※「時」セットのとき、午前/午後(P)、24時間制にご注意ください。
※「年」は、1995～2039年の範囲内でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年、および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(4) セットが終わりましたら、

ⓑ ボタンを押します →点滅が止まります。

※時刻・カレンダーセットのまま、2～3分ボタン操作を行なわないと、自動的に点滅が止まります。

アラームの使い方

操作のしやすさにしたがってⓑボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位でセットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

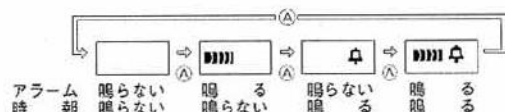
■アラーム・時報を鳴らすには

(1) アラームモードのとき、

Ⓐ ボタンを押します



Ⓐ ボタンを押すごとに以下の順でアラームおよび時報のON/OFFが切り替わります。
※アラーム時刻セット操作をすると、自動的にアラームON(点灯)となります。



■鳴っている電子音を止めるには

アラーム音が鳴っているときに、Ⓐ・ⓑ・ⓒ・Ⓓいずれかのボタンを押します。

■アラーム時刻をセットする

(1) アラームモードのとき、

ⓑ ボタンを押します

→アラーム時刻の「時」が点滅します。
※このとき「■■■」マークが点灯します。



(2) セット箇所を選ぶ

ⓒ ボタンを押します

ⓒ ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が「時」と「分」を移動します。



(3) 点滅箇所のセット

Ⓐ ボタンを押します

Ⓐ ボタンを押すごとに数字が1つずつ進みます。※押し続けると早く進みます。



上記(2)～(3)の操作をくりかえして、アラーム時刻を合わせます。
※「時」セットのとき、午前/午後(P)にご注意ください。
※時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

(4) セットが終わりましたら、

ⓑ ボタンを押します →点滅が止まります。

※アラーム時刻セットのまま、2～3分ボタン操作を行なわないと、自動的に点滅が止まります。

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

タイマーの使い方 操作のしぐみにしたがってCボタンを押し、タイマーモードにします。

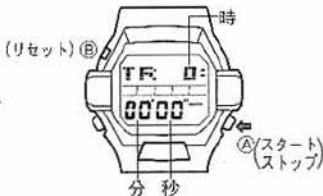
タイマーは秒単位で24時間までセットでき、秒単位で減算計測を行いません。セットした時間を経過すると、10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

■減算計測のしかた（タイマーの使い方）

タイマーモードのとき、

(A) ボタンを押します

(A) ボタンを押すと、1秒単位で減算計測を開始します。



●計測を一時的に中断するには、(A)ボタンを押します。もう一度(A)ボタンを押すと、その時点から計測を再開します。

●計測を中断し、計測前の表示に戻すには、(B)ボタンを押します。(計測リセット)

★残り時間が0になると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。ただし、タイマー時間が10秒以下のとき、電子音が鳴るのは1秒間となります。

■リピート計測/オートリピート計測

本機のタイマーは2種類あり、使い方に合わせて好きな方法を選ぶことができます。(「タイマー時間をセットする」参照)

●リピートタイマー（繰り返し計測）
タイムアップになると計測が止まり、タイマー時間を表示します。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

●オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）“AUTO”点灯
タイムアップになるとタイマー時間に戻り、計測ストップするまで繰り返し減算計測を行いません。

■鳴っている電子音を止めるには
タイムアップの電子音が鳴っているときに、(A)・(B)・(C)・(L)いずれかのボタンを押します。

■タイマー時間をセットする

(1) タイマーモードのとき、

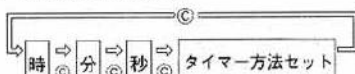
(B) ボタンを押します

→タイマー時間の「時」が点滅します。

(2) セット箇所を選ぶ

(C) ボタンを押します

(C) ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順に移動します。



(3) 点滅箇所のセット

(A) ボタンを押します

★「時」「分」「秒」セットのとき(A)ボタンを押すごとに数字が1つずつ進みます。※押し続けると早く進みます。

★タイマー方法セットのとき(A)ボタンを押すごとに“ON/OFF”表示が切り替わります。(右図)

※オートリピートタイマーにするときは“ON”、リピートタイマーにするときは“OFF”を選びます。

(4) セットが終わりましたら、

(B) ボタンを押します →点滅が止まります。

※タイマー時間セットのまま2～3分ボタン操作を行わないと自動的に点滅が止まります。



(オートリピートタイマー)



ストップウォッチの使い方

操作のしぐみにしたがってCボタンを押し、ストップウォッチモードにします。

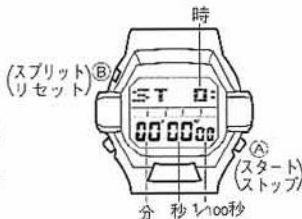
ストップウォッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

(A) ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。

計測中に(B)ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。

※(A)・(B)ボタンともそれぞれ押すと、操作確認音が鳴ります。
※計測値を0に戻すには、ストップ後、(B)ボタンを押します。



●通常計測

(A) → (A) → (B)
スタート ストップ リセット

※積算計測…ロスタイムがあるときは、ストップ後リセットせずに(A)ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

(A) → (B) → (B) → (A) → (B)
スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット

●1・2着同時計測

(A) → (B) → (A) → (B) → (B)
スタート 1着ゴール 2着ゴール 2着タイム表示 リセット
(1着タイム表示)

保証・アフターサービスについて

●保証書はよくお読みください…保証期間は、お買い上げ日から1年です。保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●この製品の修理部品の保有年数は修理部品の保有年数は生産終了後7年を基準としています。ご使用条件により異なりますが修理可能期間はほぼこれに準じます。

●修理を依頼されるときはまず、もう一度本書にしたがって正しく操作していただき、直らないときは次の処置をしてください。

※できるだけ詳しくその状態をお知らせください。

・保証期間中は～保証書の規定にしたがって、お買い上げの販売店またはカシオサービスセンターへ修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。

・保証期間が過ぎているときは～お買い上げの販売店またはカシオサービスセンターへご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

●あらかじめご了承ください

・修理のとき、一部代替品を使わせていただくことや、修理に代って同等品と交換させていただくことがあります。また、特別注文された商品の修理ではケース・ガラス・バンド等の変更部分にカシオ純正部分を使用させていただくことがあります。

●アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは

・お買い上げの販売店または本書記載のカシオサービスセンターにお問い合わせください。

・仕様が日本国内向けの製品は、海外での修理受け付けができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内のカシオサービスセンターにご依頼ください。

※万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

